

明日の明るい家族のために

父母改造計画～生涯学習義務教育化～

近頃日本では、子供による犯罪があつちにも
そつちにも増えています。

なぜ青少年少女たちの心は乱れてきてるのか。

その原因はそれぞれですが、家庭内の事情が
多いように思われます。家庭内で父親母親が
その役割を果たしていない、ということです。

なぜ?・・・現代の教育は学問の詰め込み教育
であって、家族や家庭の経営や社会人として

の在り方等は教えてもらえません。そのためには社会人としてあるいは
家庭人として立派な社会を育成する義務教育制度が必要なのです。



その家庭の問題点とは・・・。



最近の親って・・・

共働き

教育能力の低下

子供ほったらかし

・・・が目立っています。



「撞れのパパ・ママ育成計画」 ～そのシステム～

子供から尊敬される父親、母親を育成するには、？・・・子供の気持ちを理解できる大人をすることです。そのためには大人たちが社会を構成しているあらゆる人の立場にたって、人を思いやることを学ばねばなりません。保育士や看護師を経験すれば子供や弱い人たちの気持ちが理解できます、警察官を体験すれば道徳心が目覚め、ゴミの収集を経験すればゴミのホイ捨てもしなくなるでしょう。

「様々な職業を体験することによって大人自身が社会から何かを学びとる。」という義務教育制度を作っていきます。

☆対象年齢 19～40の男女 19歳になると同時に、通知が届きます。

成年学校 19歳～25歳（土木作業・肉体労働）

盛年学校 26歳～33歳（社会福祉、看護師、保育士等）

熟年学校 34歳～40歳（教育、公職（警察官等）



☆時間割・制度～週1日程度・もちろん給料もあります。

義務教育なので職種を選択することはできませんが、一つの仕事に最低で3ヶ月～1年勤めます。

たとえば・・・

職種	 給食を作る人	 ヘルパー	 保育士	 大工	 警察官
内容	小中高と給食を作ってもらいます。	老人介護。	子供の世話。	家を建てる。	交番に勤める。
結果	栄養士の資格もとることもできて、料理も得意になるかも・・・。	痛みや苦しみを分かち合える。ヘルパーの資格もとれる。	子供の扱いに慣れる。	体力がつく。器用になる。おもちゃが作れたり、簡単な修理もできる。	街のために尽くす気持ちが育てられる。街について考えられる機会が作られる。

その効果とは・・・

例1



お料理の苦手だったAさん。
給食作りをすることになって早〇年。
なんとお料理が得意に!!
これをきっかけに栄養士の資格にも
挑戦してみました。
お子さんの体調管理もばっちり!!

例2



子供と接する機会の少なかったTさん。
保育士を体験し、子供とどのように
向き合っどどのように接してあげるかを
学びました。
おかげで今は近所の子供にも大人気!!

例3



今までゴミはそのまま捨てていたSさん。
清掃員の仕事について、街の環境美化に
努めるようになり、ポイ捨てもやめました。
それを見ていた子供たちも見習って
ゴミはゴミ箱へ捨てるようになりました。



Before...



After...



Before...



After...



Before...



After...

上に書かれていることはほんの一例ですが、このような皆さんに学んでいってほしいのです。

その結果は・・・。

思いやりのある社会を作っていくということは、思いやりのある人間を作っていくということです。大人である父親、母親がまず思いやりを持った人間として、成長していくことが家庭の平和につながりその子供たちがまた立派な大人として育っていき社会の平和につながっていきます。自分だけの小さな社会に埋もれることなく広い社会でいろいろな人の立場に立つという経験が今の人には必要なのではないのでしょうか。



お父さん、お母さんが
変わる。

子供が変わる。

- 日本の少年犯罪がへる。
- 家庭が明るくなる。
- 日本がいい国になる。

